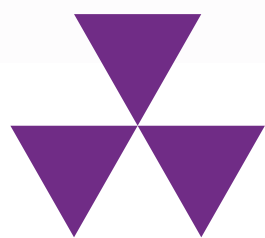


DOSHISHA TOKYO JOURNAL



同志社

東京

2020 Summer

No.120

ジャーナル



創刊30周年記念号

同志社東京校友会

表紙写真 植木朝子学長
写真提供 同志社大学校友課

INDEX

植木朝子新学長のメッセージ
「創立150周年に向けて」

井上校友会長に名誉学位贈呈

【東京ジャーナル創刊30周年記念特集】
誌面で振り返る東京校友会30年のあゆみ

登録団体活動レポート・ESS東京OB会

片桐家同志社五代記（三十三）

連載コラム 今出川・京田辺四季

「春の集い2020」今年度開催中止のお知らせ
すみれ亭句会／計報

首都圏の校友の皆様へ

創立150周年に向けて

第34代学長 植木朝子

コロナの時代の私たち

新型コロナウイルス感染拡大のため、5月末に開催予定の「同志社東京・春の集い2020」は中止になりました。4月1日、同志社大学の学長に就任された植木朝子先生には、多方面から注目を浴びる中、「春の集い」でご講演をいただき、新学長としての抱負などをお聴かせいただく予定でした。残念ながら、それも叶わないことになりましたので、ご講演の代わりとしてメッセージをいただきました。

平素は、本学の教育研究活動に深いご理解と温かいご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大という未曾有の恐怖と不安の中に始ま

りました。校友会の活動も大幅な制限を強いられ、「同志社東京・春の集い2020」も中止となってしまうことは、誠に残念です。入念に準備してくださっていた皆様のことを思いますと本当に胸が痛みます。

イタリアの作家、パオロ・ジョルダノが著した『コロナの時代の僕ら』が話題になっています。この本は、本年2月29日から3月4日までの日々を記したエッセイ集です。このエッセイを読むと、科学的な視点と正しく恐れる力を身につけることで、フェイクニュースを含めた真偽のわからない情報に振り回されず、混乱の日々を少しは心穏やかに過ごせるようになると感じられますが、本書はそこで

終わりではありません。筆者は、新型コロナウイルスが人間に伝染したそもそものきっかけは、環境破壊や温暖化といった現代人の生活スタイルが生んだ問題に発するのではないかとし、コロナの流行が終息した後も、必ず新しい感染症の流行が起こると予測しています。そして、そういう新たな危機に今のうちから備える一方、これまでとは違う価値観のもとで、これまでとは違う未来の在り方を各自が模索する大切さを説いているのです。

大学の未来

このように、私たちは新たな価値観のもとで、新たな生き方を考える必要に迫られています。複雑で不透明な時代を生き抜くために、私たちには多様な価値観を理解し、その違いを新たな創造へ導く力が求められます。

大学とは、主体的創造の源としての「知」の共同体です。そして、同志社大学は「徳」の共同体を基礎とした「知」の共同体の構築を目指してきた点で唯一無二の大学です。

本学は、創立者新島襄が『同志社大学設立の旨意』で宣言しているとおり、自治自立の精神

に富み、自由を尊び、良心を手腕に運用する志高き人物の育成を目指して、教育研究活動を展開してまいりました。今後も本学が守り続けてきた建学の精神を受け継ぎながら、同時にそれぞれの時代背景に適応した同志社教育の新たな形を示していかなければなりません。

150周年に向けて

喫緊の課題として、大学は、刻々と変わる事態に対応し、困窮学生へ支援の手を差し伸べ、教育を止めないという大学の使命を果たし続けていきます。

一方、中長期的な視野に立つて、2025年の創立150周年に向けた新たな学びの形を示しているのが、「同志社大学ビジョン2025」です。

現在、本学では、このビジョンに基づき、「学びのかたちの新展開」「キャンパスライフの質的向上」「創造と共同による研究力の向上」「志」ある人物の受入れ」「国際主義」の更なる深化「ブランド戦略の展開」すなわち、教育・学生支援・研究・入試・国際化・広報の各方面で改革を進めています。3月末には、松岡前学長が実施した



植木朝子学長

1990年お茶の水女子大学文教育学部国文学科卒業。同大学助手などを経て、2005年同志社大学文学部国文学科助教授、2007年同大学文学部国文学科教授。2017年から副学長。同年より教育支援機構長も務め、2020年4月から現職。専門は日本文学。

井上校友会長に名誉学位贈呈

同志社校友会の井上禮之会長（ダイキン工業株式会社取締役会長兼グローバルグループ代表執行役員）に、同志社大学から「名誉文化博士」の学位が贈呈されることになり、3月28日（土）、今出川キャンパスにおいて「名誉学位贈呈式」が行われました。

井上会長は、同志社中学校・高等学校を経て、1957年（昭和32年）に経済学部を卒業後、大阪金属工業株式会社（現・ダイキン工業株式会社）

に入社。入社後は、卓越した経営手腕を発揮して、同社を世界トップクラスの空調機メーカーに成長させるという素晴らしい実績を残されています。

「名誉学位贈呈式」では、実業家としての顕著な実績と、同志社校友会会長・学校法人同志社理事としての大学への多大な貢献を称えて、松岡敬学長から「名誉文化博士」の学位が授与されました。

文責／新田博伸（77年・法）
写真提供／同志社大学校友課



井上禮之同志社校友会会長



大学関係者と記念撮影



松岡学長より名誉学位の授与

取組を『PROGRESS REPORT (2016-2019)』としてまとめました。

このたびの学長就任にあたりましては、副学長としての3年間の経験を生かし、「ビジョン2025」を発展的に継承し、未達成課題については、今後実現可能な年次計画を立てて、着実に遂行していく所存です。特に、ダイバーシティの推進には力を入れていきたいと思っています。

ビジョンのうち、「ブランド戦略の展開」におきましては、「卒業生との生涯にわたる連携」を掲げ、同志社大学カードの製作や募金活動の体制構築を進めて参りました。特に2017

年より開始した「2025 ALL DOSHISHA 募金」には、すでに多くの校友の皆様から貴重なご支援をいただいておりますとともに、各支部の募金担当者の皆様には大変お世話になっております。改めまして、心から御礼申し上げます。

卒業生の力

私は、2005年に同志社大学に着任いたしました。外から来た者として、大変感動いたし

ましたのは、「一人一人は大切なリ」という新島襄の精神が、キャンパス全体に深く浸透していることでありました。そしてまた、14学部16研究科の幅広い教育の背景に、良心を信頼し合う人と人の関係が確かに構築されていることでありました。

このような同志社大学を作り、今日の地位を築き上げたのは、長い間の教員と職員の努力だけではありません。むしろ、本学卒業生の社会の諸分野での活躍こそ、同志社を今日あらしめている最大の要因です。

同志社大学の教育の優れた質が本学卒業生の質を担保し、卒業生の質が本学の教育の質を確認してきたのだと思います。卒業生がひとり残らず、同志社大学の卒業生であることに誇りをもち、その誇りを胸に社会を生き抜いていけるように、そしてまた、良心を手腕に運用する人物たちを世に送り出すことでよりよい社会を実現していくという同志社大学の使命を果たせるように、微力を尽くしたいと存じます。

皆様のご協力、ご鞭撻を切にお願い申し上げます。
写真提供／同志社大学校友課

徳弘支部長(昭和 61 年～平成 8 年)～太田支部長(平成 8～10 年)

[illegible]

硬式野球部 神宮大会で2度目の日本一！
(5号、1991年2月発行)



創刊号を手に
西村四郎東京ニュース
初代編集長
(101号、2015年10月発行より)

平成2年2月22日

The Doshisha Tokyo News

創刊1(号)

主な紙面

- 1面 発行の辞
- 2面 企業内校友クラブ紹介
- 3面 随想・時評
- 4面 私の同級生

THE DOSHISHA TOKYO NEWS

年4回発行 1部金100円 同志社東京ニュース発行委員会

同志社校友会東京支部

〒104 東京都中央区銀座4-5-1

電話番号(三)7400

☎(03)5357-9627

発行人 東京支部長 徳弘勢也

編集人 東京支部長 西村四郎

発行の辞 徳弘支部長

友、同志、町関係者など多数が出たのも、本年一月二十三日、神奈川大磯町で校

友、同志、町関係者など多数が出たのも、本年一月二十三日、神奈川大磯町で校

友、同志、町関係者など多数が出たのも、本年一月二十三日、神奈川大磯町で校

新島襄先生永眠百周年大磯碑前祭

同志社校友会東京支部「徳弘支部長」

同志社校友会東京支部「徳弘支部長」

同志社校友会東京支部「徳弘支部長」

同志社校友会東京支部「徳弘支部長」

関東地区 校友名簿

限定1,500部

仕様 B5版 400頁 クロス強装丁

案内書

平成1年12月発行

頒布価格 1冊 3,000円

● 同志社校友会東京支部同窓会事務局

(東京・会報・役員)

● 校友会名簿

本文 (関係・会報・会報・会報)

発行 (東京支部)

同志社校友会東京支部

〒104 東京都中央区銀座4-5-1

電話 (三) 7400

電 信 (03) 5357-9627

1990年(平成2年)2月22日「同志社東京ニュース」創刊

校友會東京支部・東京校友會 歷代代表者

1898	明治 31	支部代表	丹羽清次郎	1965	昭和 40	支部長	田島弘一郎
1907	40	代表幹事	徳富猪一郎（蘇峰）	1975	50	〃	津下統一郎
1915	大正 4	〃	吉川潤一郎	1986	61	〃	徳弘勢也
1934	昭和 9	〃	安東守男	1995	平成 8	〃	太田文雄
1935	10	〃	三宅驥一	1998	10	〃	西村二郎
1943	18	支部長兼代表幹事	秦孝治郎	2002	14	〃（2001 年支部長代行）	堀内陽二
1950	25		田島弘一郎 高島吉郎 平山秀雄 一木実也	2005	17	〃	雲川俊夫
1955	30	支部長	菅 琴二	2007	19	支部長→会長（2009 年）	木村昌平
1958	33	〃	峰岸次郎 原田 健	2011	23	会長	児玉正之

(101号、2015年10月発行より)

岡仁詩同大教授講演会開催 「同志社ラグビーの去年そして今年」



岡教授

梅雨の晴れ間というか、この時期にしてはさわやかな天候に恵まれた六月十四日(日)、夜八時三十分から、ホテルオークラ、曙の間に於いて同志社ラグビーの育ての親ともいえる岡仁詩同大教授を招いて、百数十名が参加し、校友会東京支部六月恒例の講演会が開催された。

会には校友会東京支部長徳弘孝也氏の挨拶をはじめ、岡先生の略歴が紹介されて、

た、岡先生の演題は「同志社ラグビーの去年そして今年」。

同志社ラグビーに注目されている人であれば、もう誰もが知っている、今年正月、国立競技場をかねた明治大学との大学選手権の準決勝戦。岡大は明大陣営に終始なだれられ、再三のペナルティゴールのチャンスに、ゴールへ向かって蹴るに、ひたすらトライを取りについた。この同志社ラグビーの偉大な哲学が生れたにたつた学生との数多くの対話、そして練習、これらがどうして形成されたのか、先生はわかりやすく、そして今年も出来るだけ優勝したい、という願望を述べられて講演を締めくくられた。

講演会終了後懇話会に移り、岡先生を囲んで、あるいはあちらこちらに談話の輪が出来上がり、出席者一同時間の経過を忘れてたのしく、一時を過ごしたのであった。

相撲界に旋風を巻き起こす男 同志社の星 土佐ノ海

(伊勢ノ海部屋 千秋楽打上げ会)



同志社校友との記念撮影



活躍の期待される土佐ノ海岡

東京場所(二月・五月・九月)の千秋楽日の夕方六時前後になると、J.R.錦糸町駅界隈は一種、独特の雰囲気包まれる。羽織袴姿に大銀杏の開業、浴衣姿の取組衆、国技館のムードがそのまま持ちこたれる。クニマチとどいかに相撲ファンがあらはに群がっている。

伊勢ノ海部屋恒例の千秋楽打上げ式も、J.R.錦糸町駅前のロケット会館で例年行われている。ロビーに入ると取組連中が宴会場を親しく案内してくれる。伊勢ノ海部屋の打ち上げ式は、二階より上までの大会場で、まずは受付での観以下、関取衆、行司、取組衆総出のお出迎えから始まる。

式は各力士の今場所の成績発表、親方からの金一封授け、後援会からの表彰等、伊勢ノ海部屋所属の力士二十一人、行司、廻り、マネージャーを含む総勢二十五人の大男が正面舞台上に勢揃いする様子は圧巻である。

食事はビュッフェスタイルの飲み喰い放題の宴会スタイルだが、我が行がうチマツマしたものでなく、どんなにスタイルの豪快さでもの相撲料理なのだ。チャンコ鍋も料理屋で食べるキレイ事の鍋と違い、関取衆の体力の源泉がわかる。

た、岡先生の演題は「同志社ラグビーの去年そして今年」。

同志社ラグビーに注目されている人であれば、もう誰もが知っている、今年正月、国立競技場をかねた明治大学との大学選手権の準決勝戦。岡大は明大陣営に終始なだれられ、再三のペナルティゴールのチャンスに、ゴールへ向かって蹴るに、ひたすらトライを取りについた。この同志社ラグビーの偉大な哲学が生れたにたつた学生との数多くの対話、そして練習、これらがどうして形成されたのか、先生はわかりやすく、そして今年も出来るだけ優勝したい、という願望を述べられて講演を締めくくられた。

講演会終了後懇話会に移り、岡先生を囲んで、あるいはあちらこちらに談話の輪が出来上がり、出席者一同時間の経過を忘れてたのしく、一時を過ごしたのであった。

平成七年度総会

- 日時 平成八年二月二十日(火)
午後五時三十分
- 場所 ホテルオークラ曙の間
- 第一号議案 平成七年度事業報告
 - 第二号議案 平成七年度会計報告
 - 第三号議案 平成八年度予算計画
 - 第四号議案 平成八年度決算計画
 - 第五号議案 東京支部会則改正案
 - 第六号議案 東京支部役員案
- 終了後懇話会、ティーを囲みます。
- 校友の大相撲、土佐ノ海岡出席予定で、振るってご参加下さい。
- なお、今般、東京支部会則改正に則り、評議員を退出の同答をいただきます。
- グループ名は左の通り四十九団体です。
- (到着者)(二月十七日現在)
- 一七会、日本銀行、住友海上、山一證券、茶道部OB会、東京ばらもん、東京同風会、伊勢商事、グンゼ産業、卓球部OB会、古美研OB会、東京ゴルフ同好会、東京支部会則検討委員会、二二会、鉄建建設、三葉商事、東京上、ラグビー部OB会、月経社、フエニシグンツボOB会、鹿島建設、アメリカンフットボール部OB会、帝人、千代田化工建設、東京ニュース発行委員会、東京サクラクレの裏話が開かれるのも一興である。

それにしても土佐ノ海岡の活躍は目を見張るものがある。平成七年九州場所での貴、曙岡親からグループ金星、殊勲、技能の表彰を受け、順風に乗り、様々な栄光をひと抱えにさらして、いつまでたっても話し込んで、さうこうする間にラオカが登場とある。土佐ノ海岡はオケも貴重な聞きもの一つである。

最後は豪華なクシ引きで、入口で置かれた札番号が次に読み上げられ、賞品は上はテレビ、ステレオから下はタオル、電池の類まで後援会からの寄贈品で埋まる。又この席には毎回、服部雅典氏(同志社OB元選手ノ川)が出席し、貴重な相撲界

大相撲 伊勢ノ海部屋の打ち上げ会に出席
土佐ノ海(1994年・商)を激励
(25号、1996年2月発行)

同志社ラグビー黄金時代を築いた名将、
岡仁詩教授「同志社ラグビー」の講演会
(19号、1994年8月発行)

同志社校友会東京支部発行 1998 MAY NO.32 (年4回発行)

The Doshisha Tokyo News

〒104-0061 東京都中央区銀座4-5-1 聖書館ビル4階 (特)同志社東京分室発行 電話 03-3561-4020 発行人/太田文雄 編集人/中出史朗

「同志社東京・春の集い」開催 豊富な催しで最後まで盛り上がる

校友会東京支部の恒例行事である懇話会が、装いを一新させ、3月29日午前11時半よりホテル・インターコンチネンタル東京ベイで開催された。当日は同志社関係者をはじめ300名を超える校友や家族が出席。楽しいひと時を過ごしました。

グリークラブOB日校友と同志社ソングを歌う

「東京にあるどの大学よりも力強い校友の輪を築きたい」(大和忠・実行委員長)と、4時間にわたってさまざまな企画を盛り込んだ「同志社東京・春の集い」は、出席者から「最後まで飽きることなく非常に楽しかった」「来年もまた来てみたいくなる催しだった」などの声が寄せられ、盛況のうちに幕を閉じました。

今年の懇話会は、若い世代を中心とした実行委員会が企画を練ったもので、校友が子供を連れ、家族とも楽しんでもらえるように、ゲーム、くじ引き、オークションなどの各種アトラクションを充実させるとともに、別室を使って自主講座を開

田文雄支部長は、「来る2000年に、わが同志社は創立125周年を迎えます。この機会にあためて校祖・新島真先生が実現せんとした建学の精神「良心を手腕にした人物の養成」に思いをいたすとともに、校友の輪をさらに広げてゆこうではありませんか」と力強く挨拶しました。

なお今回の懇話会をきっかけに、千葉在住者による千葉支部の発会や、政友会東京支部の設立準備会が行われ、新たなグループが誕生しました。

「校友の輪をさらに広げよう」 太田支部長が力強く挨拶

当日は同志社から、松山義剛総長、野本真也理事長など大学関係者も来賓として出席。「このような素晴らしい企画を立て、心のこもった準備をしてくださった方々の献身的なご協力に對して感謝を申し上げます」(野本理事長)と語っていました。

一方、オープニングで乾杯の音頭をとった同志社校友会東京支部の太

1998年3月29日、「第1回 春の集い」開催
(32号、1998年5月発行)

支部活動

東京支部の円滑な活動を推進するため「通信費及び運営・連絡協力費」を設置

校友会東京支部では、「関東地区の同志社OBが増大する中、今後も活発な支部活動を推進していくためには安定的な財政基盤の確立が不可欠」として、今年度より年間2,500円の「同志社校友会東京支部通信費及び運営・連絡協力費」を新設。広く校友の皆さまへのご理解とご協力を呼びかけています。

同志社校友会東京支部では、過去数10年にわたり関東地区に勤務・居住する同窓生の交流と親睦を図ってきました。これらの活動は、支部に安定した財政的基盤がないため、これまではイベントなどによる一部収入や、校友の善意とボランティアによって維持してきたのが現状となっています。

しかし関東地区在住の同窓生が年々増加し、すでに1万人を超えるまでになってきた今日、これら校友に支部として広くコミュニケーションを図っていくには、すでに財政面でも、また事務局の機能としても困難な状況となりつつあります。

このような現状を受け、昨年5月から新たにスタートした6委員会の一つである財政委員会が、財政基盤の確立に向けた施策を協議してきました。さらに今年3月には、このための専門委員会として「通信費委員会」(委員長・吉岡隆高理事)を新設し、より具体的な検討を重ねてきました。

この結果、今後も東京支部の活動を円滑・健全に運営していくためには、多くの校友から広く、深く、公平に費用を負担してもらうしかないとの結論に達し、評議員の了承を得て、この度「通信費及び運営・連絡協力費」(略称・通信費)を設置。校友の皆さまのご理解とご協力をお願いすることになったものです。

通信費は年間2,500円で、支部行事やイベントの開催通知、並びに同志社東京ニュースの制作・発送費に充当されるほか、事務局の強化などにも還元していく予定です。

申し込みは所定の用紙に必要事項を記載すれば、クレジットカードで自動的に引き落とされます(一部クレジットを除く)。現在、銀行口座からの自動引き落としも交渉中で、通信費委員会では来年度中に2,000人の申し込みを見込んでいます。

財政基盤の確立を目指し、年間2,500円の「通信費及び運営・連絡協力費」を設置
(30号、1997年10月発行)

【東京ジャーナル創刊30周年記念特集】

誌面で振り返る東京校友会30年のあゆみ(2)

33号(1998年・平成10年)～82号(2010年・平成22年)

西村支部長(平成10～14年)～堀内支部長(平成14～17年)

～雲川支部長(平成17～19年)～木村支部長・会長(平成19～22年)

支部活動

新島襄終焉碑前祭、生誕碑前祭 大磯町(神奈川)、神田一ツ橋で挙行

百天110年新島襄 終焉碑前祭

新島襄先生が、明治23年(1890)、神奈川県大磯町で、療養の甲斐なく47歳の生涯を閉じてから110周年を迎えた1月23日、恒例の終焉碑前祭がしめやかに執り行われました。

この終焉碑前祭は、校友会東京支部の主催により、新島先生の命日である1月23日、終焉の地・大磯町に建てられた碑前で開催されているものです。

今年は日曜日と重なったことや、(学)同志社主催の創立125周年記念講演会が同時開催されたこともあって150名を越す校友・同意が参加、かつてない規模となりました。神奈川支部の「多く会」の皆さんは、藤町の平塚駅からウォーキングで参加され、それぞれがそれぞれのスタイルで新島先生の哀悼を祈る姿が印象的でした。

式典では京都からお越しになった松山総長、地元大磯町の片野一雄町長、同意会東京支部の渡辺支部長、校友会東京支部の西村支部長がご挨拶されました。



▲ともにカラッソングを



移され、大磯町時勢連の方々が新島先生詩作の「寒梅」「送歳詩」を朗誦されて彩りを添えました。

最後に東京クロアチアクラブの皆さんのリードによるカラッソングの斉唱、参加者全員が終焉碑に献水と参拝をし碑前祭の幕を閉じました。



創立125周年記念講演 新島襄の「白鳥の歌」 ―大磯の28日―

終焉碑前祭に続いて、(学)同志社主催による創立125周年記念講演会が大磯町立福祉センター「さざれいし」で開催され、同志社大学文学部の本井康博講師が、新島襄の「白鳥の歌」―大磯の28日―と題して講演。新島先生が残された作品の数々を、ユーモアたっぷりに解説。校友・同意はしめやかに聞いていました。

講演の後、缶ビールを片手に昼食

懇親会が開かれ、新島先生を偲びつつ、ひとしきり新島談義の花を咲かせていました。



新島先生誕生碑前祭
八田学長をお迎えして

新島先生が東京生まれということは余り知られていないようですが、その誕生の日2月12日(土)、生誕碑前祭が行われました。

生誕の碑に建てられているのは、千代田区神田一ツ橋の学士会館の一階、先生が呼々の声を上げた午前11時、伊藤義清牧師(33年神院)の折神で厳かに始まりました。

続いて神会川、埼玉、千葉、群馬の各支部長、同意会東京支部長ら参加者全員で賛美歌を合唱。最後に京都から上京された八田英二学長が代表して献花され、生誕を祝しました。

その後、懇親会に移り、八田学長を囲んで同志社の現状、今後のあり方等について活発に意見を交換していました。

「同志社大学東京アカデミー」の 開設に伴い東京支部事務局移転

去る6月11日より東京に於ける学校法人同志社の新たな活動の拠点として、渋谷の東京山手教会の一部スペースを借用して「同志社大学東京アカデミー」が開設されました。



この施設は、従来銀座にあった学校法人同志社東京分室が移転するとともにおよそ180㎡のホール及び20人定員の会議室が備えられており、今年度の「同志社大学東京講座」もこのホールを会場に多くの受講者を迎え、開講されました。



東京支部事務局が渋谷へ移転
(33号、1998年8月発行)

これに伴い同志社校友会東京支部事務局も同所に移転しました。7月8日には開設にあたり、東京山手教会礼拝堂において記念講演会が行われ、引き続き同アカデミーホールにおいてオープニングセレモニーが開催されました。

なお、ホール、会議室の施設利用及び



卒業生とのネットワーク作りの一環として、東京分室事務室内に新たに設置されたメールボックスの使用要領の詳細につきましては、事務局にお問い合わせください。

支部活動

有楽町で新島襄、源氏物語を学ぶ… 第20回東京新島講座公開講演会

「新島襄の短歌―和歌的発想と短歌的発想―」 「花の都・源氏物語名所遊覧」

第20回東京新島講座(主催/学)同志社・同志社新島基金運営委員会、後援/同志社校友会東京支部、同志社同意会東京支部)が勉学の秋たけなわの10月9日(土)、有楽町朝日スクエア(有楽町マリオン11階)で開催され、校友、同意を中心に、聴衆は学生時代に帰ったように熱心に講座を聞き入っていた。

この新島講座は、同志社創立百周年記念事業の一環として開設された公開講演会で、同志社建学の精神に基づき、現代にふさわしい教育・研究の幅広い交流を図り、学術・文化の進展に資するために開かれている。

第20回目となった今講座の講演第1部では、安森敏隆同志社女子大学教授が「新島襄の短歌―和歌的発想



▲安森敏隆教授 ▲廣川勝美教授

と短歌的発想」の演題で講演され、新島襄の残した51首の歌について解説、正岡子規や与謝野鉄幹よりも早く短歌的な発想があったことを述べるとともに新島先生の生涯を歌を通して辿られた。

講演の第2部では、廣川勝美同志社大学文学部教授が「花の都・源氏物語名所遊覧」と題して講演された。

平安京の地理や名所を源氏物語との関わりで述べられ、光源氏の住まいの六条院は、春夏秋冬の四つの町からなり、一つの町が13000㎡ある広大な邸宅であるなど、当時の様子を紹介された。古の雅びが彷彿とされる講演に校友・同意は熱心にメモを取っていた。



東京新島講座 公開講演会 (38号、1999年11月発行)

支部活動

「2000同志社東京・春の集い」約500名が参加 恵比寿ガーデンプレイスは同志社一色に

江崎玲於奈さんの講演に感動、タイムファイブの公演にうっとり
共に One purpose, Doshisha を熱唱

同志社校友会東京支部の最大のイベントである懇親会「2000同志社東京・春の集い」が、4月15日(土)東京渋谷区の恵比寿ガーデンプレイスで開催されました。

あいにくの肌寒い雨模様にも関わらず500人近くの校友・同意が参加、会場の恵比寿ガーデンプレイスは首都圏各地から訪れた同志社人で埋めつくされ、かつてない活況を呈しました。

■江崎さん同志社時代の写真を披露
新しいスタイルに挑戦しよう、従来のホテルから都会派スポットのピカホールに会場を移して開催された「2000同志社東京・春の集い」は、第一部の特別講演、第二部の懇親会が構成されました。

懇親会に先立って行われた特別講演では、同志社校友でノーベル物理学賞受賞の江崎玲於奈さんが「変革の時代―科学者が歩んだ50年の道」と題して講演。会場は立ち見も出る超満員の盛況となり、誰もが身を乗り出すように、熱心に聞き入っていました。



▲グループOBの奥やかなハーモニーに盛り上げられオープニング

グループOBのさわやかな歓迎の歌声、司会の滝真子さん(46年文)による新島襄先生の言葉「我が母校の門をくぐりたるものは…」の朗読、伊藤義清牧師(33年神院)のお祈りに続き、大和忠実委員長(33年神)の高らかな開会宣言で、「2000同志社東京・春の集い」第二部の懇親会は幕を上げました。

続いて、京都からお招きした来賓の松山義則総長、野木真也理事長、八田英二学長、秋田まち子校友会長の紹介の後、来賓の4氏と江崎博士、西村支部長による親交が行われました。引き続き、首都圏の支部長、



▲来賓と支部長による親交

引き続き、オークション、最高齢者の紹介、ドリームくじ等が行われ、最後に、同志社大学応援団東京OB会の方々のリードで、カラッソング、同志社チアを斉唱、参加された校友・同意は、同志社づくりの春の一日を心ゆくまで満喫していました。

「2000年春の集い」のゲストは江崎玲於奈さん(40号、2000年5月発行)

お知らせ

同志社校友会東京支部の
事務局が渋谷から
日本橋へ移転しました

当支部の事務局は、長らく(学)同志社のご好意により、東京分室に置かせていただいていたが、去る10月1日より日本橋區留町(株)アイテック内に移転しました。

事務局問題は当支部の大きな課題でした。所属校友の数が7000人を越え、と共に通信協力費の会員が900名近くに達し、さらに「春の集い」をはじめとする事業も大型化、かつ多岐にわたっています。

これに伴う打ち合わせや会議、事務量も増加の一途を辿り、東京分室内では対応しきれない状態を迎えていたが、このたび(株)アイテックの廣田隆一郎社長(昭和34年・商)から事務局執務場所及び会場場所、そして、これに伴う種々の便宜をお計りいただける旨のお申し出を頂戴しました。このお申し出を受け、事務局を下記へ移転した次第です。

事務局の執務日は従来と同様に月曜日と木曜日の午前10時から午後17時です。

●移転先

〒103-0012

東京都中央区日本橋區留町1-2-10

イーピア日本橋SABIL(株)アイテック内

TEL.03-5640-8654 FAX.03-5640-8570

東京支部事務局が日本橋へ移転

(50号、2002年12月発行)

THE DOSHISHA TOKYO NET

ホームページ「同志社ネット」始動

「同志社ネット」が本格的に活動を開始しました。制作・更新は首都圏在住の若手校友がボランティアで運営。東京支部の他、近隣支部や同窓会、サークルはじめ同志社なら誰でも参加できる楽しいサイト作りを目指しています。現在アップしているコンテンツは、〈行事予定〉〈トピックス〉〈京都掲示板〉〈企業リンク集〉〈サークル・個人リンク集〉〈同志社アルバム〉等々。原稿募集中です。どしどしお寄せください。

(H元年神 阿部修一)

東京支部の

ホームページを開設

(42号、2000年11月発行)

同志社校友会東京支部発行

2000 NOV No.42 (年4回発行)

The Doshisha Tokyo News

〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町19-5-101 (学)同志社東京分室発行 電話03-3496-3024 発行人/西村四郎 編集人/渡邊浩志

支部活動

同志社東京エグゼクティブの集い

“東京に同志社あり”、との声も高らかに
新世紀 同志社の発展を祈り盛大に開催

「同志社東京エグゼクティブの集い」が、11月13日東京・渋谷の同志社大学東京アカデミーホールで開催された。これは経済界や政界、学会、文化人等、第一線で活躍する校友が集い、母校の発展と東京支部校友の結束を固める



▲新作の旗を掲げる西村支部長の挨拶

とともに、東京における同志社の存在感をさらに高める一環として催したもので、今後は毎年秋に開催する運びとなった。

第一回目の集いには、31名のエグゼクティブが参加。京都からは松山総長、野本理事長、八田大学長ら7名、そして、校友会東京支部の理事らが出席した。

第一部式典、第二部講演、第三部パーティの順で行われ、講演では野本理事長が「21世紀に向っての学校法人同志社」、八田学長が「21



世紀に向っての同志社大学」と題して講演、新世紀の同志社の構想を語った。

パーティーはSMD有志のマンドリン演奏で幕を開き、社民党の土井たか子党首、ホーネンコーポレーションの鶴橋二会長、大和証券グループ本社の楠田智昭会長が代表でスピーチ、それぞれの同志社への思いとともに、今後の同志社のあり方を熱く語った。最後に全員で胃を組み、カレッジソングを合唱、同志社の益々の発展を祈り歡会した。

お知らせ

■新島義生臨終前祭

日時：平成13年1月23日 午前11時

場所：神奈川県大磯町

終了後、昼食懇親会 会費5000円

■新島義生臨終前祭

日時：平成13年2月12日 午前11時

場所：神田一ツ橋 学士会館

終了後、昼食懇親会 会費5000円

●問い合わせ 事務局 03-3496-3024

評議員会及び定時総会を下記の通り開催いたします。

日時：平成13年2月22日(木)

評議員会/午後6時半

定時総会/午後7時

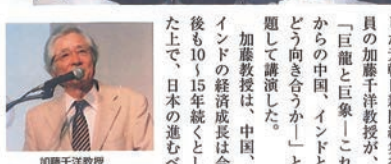
場所：同志社大学東京アカデミー

2000年に「特別協力会員制度」が創設され、同年11月13日には

「第1回同志社東京エグゼクティブの集い」が開催された

(42号、2000年11月発行)

同志社キャンパスフェスタin東京



加藤千洋教授

同志社に出会う 志にふれる

同志社大学の今を伝える同志社キャンパスフェスタが、東京を皮切りに金沢、松山、福岡、松江、盛岡、福島の7会場で開催され、同志社の現況と未来が各地で発信された。

同志社に出会う 志にふれる

同志社大学の今を伝える同志社キャンパスフェスタが、東京を皮切りに金沢、松山、福岡、松江、盛岡、福島の7会場で開催され、同志社の現況と未来が各地で発信された。



2010 Dec No.82
同志社東京校友会

団体名称が「東京支部」から「東京校友会」に変更され、
東京校友会事務局が大手町に移転した

東京支部発行の題字



東京校友会発行の題字



同志社東京校友会の 事務所の所在地が変わりました

先の定時総会での決議により、去る6月1日より、当支部の事務局所在地、電話番号が新しくなりました。事務局の新住所、電話、ファックスは以下の通りです。

住所：〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル デスカット
同志社東京校友会 (又は同志社校友会東京支部)
電話：03-5704-9660
月曜日～金曜日の午前9時から午後6時の間、担当の女性が「同志社東京校友会です」と応答
FAX：03-5704-9661

「同志社キャンパスフェスタin東京」開催

(82号、2010年12月発行)

誌面で振り返る東京校友会30年のあゆみ(3)

2017年、東京校友会は120周年に。



同志社東京ジャーナル

TOSHISHA TOKYO JOURNAL

No.101

同志社フェアin安中 地域交流イベント
2013年7月20日(土) 午後2時～5時 新島学園中学校

INDEX

- 代表幹事・編集長 あゆみの声の時間
- 代表理事・編集長 あゆみの声の時
- 学友会・東京校友会からのお知らせ
- 学校法人同志社大百賀部、校友会上礼の会からのお願いメッセージ
- 関東・甲信越各県支部長からのメッセージ
- 最新インタビュー！東京校友会と東京ジャーナルはいつに作られたもの
- 東京校友会に関わる各団体からのメッセージ
- 志摩内校友クラブ・年次の方々からのメッセージ&アンケート
- 「友の会の集い」と3・11 東日本大震災
- 同志社と東京校友会のあゆみ
- 同志社東京ニュース・東京ジャーナル 100号のあゆみ
- 校舎紹介・校友訪問
- 志摩内校友クラブ（クローバー会）
- 新聞会と書の集い
- 同志社フェア in 安中レポート

永久保存版
創刊 100 号突破記念特大号

表紙写真
同志社創立140周年記念～新島中学への贈り物～
同志社フェア in 安中
同志社グループ・クラスと新島学園聖歌隊のジョイントコンサート
掲載記事：24 ページ

同志社東京校友会

「創刊100号突破記念特大号」(24ページ)
(101号、2015年10月発行)

[illegible]

2013年のNHK大河ドラマが「八重の桜」に決定(85号、2011年9月発行)



車庫の整備による信頼性

任分析官で、作家、学者、客員教授の佐藤優さんに「私の同志社と未来」と題して、大学とその後の人生で得たものや、多量に「深い知見から見えてくる教員のことも話いただき、あのという間に60分間が過ぎました。」

金（19万円）、企業様からの御品による推進会など、和やかな時間となりました。

残念ながら同立戦前夜が、雨天順延となり、現役応援団とホッパリーダー部の皆様参加は社いませんでしたが、応援団OBによる演舞で大懇合会を締め切られ、終業。

今年の実行委員の挨拶、来賓の実行委員長の紹介と挨拶で、聞きに、皆様、ご参加がりと、うづいしました。

[illegible]

に、昭和四年辛亥年を中心とした実行委員会委員さんな方々と知恵を出し合って、「みんななにありがと。未奉（一番へん）のテーマに沿って準備したもので、ゆつくり今日一日実施したい」と呼びかけ、開会宣言より締め括りました。

続いて、主催者代表として東京京友会会長兼理事長の長谷川。過去最多の参加者となったことへの感謝の言葉と、東京京友会発足120周年を記念する事業の概要についての説明があてられました。

未奉を代表して、同志社校友会井上良子氏から祝辞が発表されました。

その中で、同志社校友会の歴史

[illegible]

多くの販売もありました。
 大聖賢会は月経遅延ご提供の
 男性改革の機関、新たなに於ける
 法人同志社社長、理事長に就任
 した八田英一、随一の指導と
 杯の二聲声に引、続いて、東京



企業様からの献品による抽選会
 プレゼンターは丸の内山手線（丸の内線）

[illegible]

特別講演会「私の同志社と未来」佐藤優さん

「バネル脱走」が始まりました。
2階「有明」では、昭和51年
商業部卒業生でシガガソンの出演
ライターの伊藤誠さんが出演
「有志コンサート第一弾」が、以
時から始まり、伊藤さんのギ
ター、それにバイリンとじて
ノの3重奏による全6曲のアン
コール曲に聴き手第2部は
「有志コンサート第二弾」は
18時から同志社大学創設50年卒
プロミュージシャン、スベシタ
ルと題し、水谷啓一さん、サマ

[illegible]

同志社東京校友会120周年記念祭
2017同志社東京・春の集い 続編
レポート!

みんなにありがとう
未来 一歩前へ

今年の『書集』は、東京支店が予定して1200部、京都支店が120部、記念誌として企画され、トータルが実数340部でした。

レポーター

【テーマ別イベント】

受付開始の11時から、待ちかねたばかりの来場者が続々と集まってきていた。ここからテーマ別イベントの始まりです。11時30分には京都府で活躍する校友向けに「ビジネス・ネットワーク大戦略」のセミナーがスタートしました。校友の音声が聞こえてくるなか、物販の販売の準備が整う間にも、くまもとと熊本支援のためのお

97年（明治30年）に校友と
生を忘るるため、「160周年
行事として「テーマ別イベント」
実行委員長 阪口章夫氏宛書簡

「募金パザール」が始まり、ほ
どよく完了。6月5日千円級の募
金をいただきました。

一方、関東・甲信プロテスタント支
部長協議の会場では、東京近郊の
友会が歴史と現在を表す「ア
ル」、関東・甲信プロテスタント支
部長など合計約17校の本部代表者
と、同志社東大ニュース・東
ジニアスのバクナツ・バー
ンズといった復刻セサルト、全
ての巻の集いガイブック集

た上で、岸本は「通さん」でデビューし、
佐藤真由美さん（ギ
ター）、榎本佳弘さ
ん（ベース）のイオ
が、友田出雲のピアノとドラムスと交え
て全8曲のライブコ
レクションが上りま
した。

【全米集合イベント】
13時から、昨年に
あわせて「マイア
ミ演説」で全米集
会イベントが始め
まりました。指揮は阿
比由香の若手指揮

東京市立100周年記念
2017 同志社大東京 春の集い

同志社大東京

メソッド演奏 指揮は本橋大輔さん(1999年法学部卒、同志社文芸学部OB)



メサイア演奏 指揮は永峰大輔さん(1999年法学部卒、同志社交響楽団OB)

「2017年春の集い」は、1897年(明治30年)に校友会東京支部が発足して120周年にあたり、「120周年記念祭」として開催された(108号、2017年7月発行)

期	年	年度	日程	テーマ	主な講演・ゲスト(挨拶を要する、敬称略)	会場
1	1998年	0910	3月29日(日)	海と緑、そして光と共に	山田幸彦(朝日新聞編集委員)・小川弘久	ホテルリゾナーレ サンポート東京 オクトーラス
2	1999年	0911	4月7日(土)	—	佐藤雄(外務省国際情報部長)	ホテルオークラ オクトーラス
3	2000年	0912	4月15日(土)	—	江崎玲於奈(ノーベル物理学賞受賞者)	東武東上線 カサハラビル オクトーラス
4	2001年	0913	4月21日(土)	新世紀元年—共生、そして、共鳴—	土井たか子(海城学園長)	ホテル新大塚 オクトーラス
5	2002年	0914	4月27日(土)	融和と協調、そして共歩	小川弘久(国際政治・軍事アナリスト)	経団連会館
6	2003年	0915	4月28日(土)	渡邊の時代を切り開く同志社大学フロンティア	八田隆二(会長)	—
7	2004年	0916	5月23日(土)	共に輝く未来へ	中西正彦(ノンフィクション作家)	東京會堂
8	2005年	0917	5月21日(土)	今ここに、再び心を前身に充満(チャージ)しよう	佐賀正生(スポーツジャーナリスト)	—
9	2006年	0918	6月3日(土)	—	櫻井よし子(ジャーナリスト)	—
10	2007年	0919	5月12日(土)	—	田嶋靖一(ジャーナリスト・評論家)	—
11	2008年	0900	5月17日(土)	—	星野仙一(野村浩将日本代表監督)	—
12	2009年	0901	5月16日(土)	今こそ、同志社の原点—良心へ生き直す季	森野直樹(同志社大学経済学部部長)	—
13	2010年	0922	5月16日(土)	さるる春・新たな未来へ	村田明司(同志社大学文学部長)	—
14	2011年	0923	5月21日(土)	「新日本大震災のたしなみ」	内藤正典(同志社大学大学院教授)	ロイヤル ホテル
15	2012年	0924	6月7日(日)	同志社カルテック—未来を拓く同志社精神の復興	内藤正典、内藤俊介 NHKプロデューサー	—
16	2013年	0925	5月19日(日)	輝く未来へ—羽田たけし同志社精神バヤムカブール—と八里	大八木孝雄(フロンティア代表)	—
17	2014年	0926	5月25日(日)	「同志社カルテック—」—開く心、世界のR.YOSHIN	村田晃朗氏、荒木寛也(野村浩将監督)	—
18	2015年	0927	5月24日(日)	DOSHISHA ON MY MIND—我々の同志社—	中村やう子(作家、聴覚/盲唖) 作家)	—
19	2016年	0928	5月15日(土)	A.L.L. DOSHISHA	高山仁(作家)	—
20	2017年	0929	5月14日(土)	東京交差点120周年記念章・みんなにありがとう 未来 一歩前へ	佐藤 俊(作家、元外交官)	—
21	2018年	0930	5月19日(土)	京都 臨あつ 我らが同志社	平空彦(東京千代田区 五代家)	ホテル オークラ

「春の集い」は、1998年に始まり2018年に第20回を迎えた第9回から第19回までロイヤルパークホテルで開催されていたが、第20回からは会場をホテルニューオータニに移して行われている(111号、2018年4月発行)

「誌面で振り返る東京校友会30年のあゆみ」

企画・制作／新田博伸(1977年・法)



WTB鶴田は4トライを挙げる大活躍

松島博久は往年の名選手が次々
に現れ、大きな敵が過ぎまし
た。本來ならその中に居た若
平尾誠二さんのために全員で
持を揃け、いよいよゲームが
始まりな。両軍とも試合開始
監督から「安全第一」との指
を受けたのにと聞き流りが
キッパツと同時に文字通り
突っ張り倒し激しいたりと平
平争戦にスタンドから熱い声
援が送られました。途中の休
交代では「壊し屋」と林敏



国家社会小学校と東郷社福音の小学生対決

入場 校歌斉唱の後、キックオフとなりしめた。

8月8日 遅えた面平10分、同志社はハタツクルの反動でシンピンを敷け、14名で迎うこととなりました。その直後、義典が強い意モールで前出して、15分には同志社がペナルティを早くも展開し、一気に義典義典がゴール前に迫り、トライを奪い取ります。再び同点。その後も同様に、ライを奪い、面平を26、20で終

みえて実現したもので、安室
イシはさくせんしなくては、必ずサ
イシしてやることを明したように思
であることを、明したように思
いま。特に、男セブシイ貝員
本代を選手である、男子選手手
走には胸のすく思いがした
最終には同志を50・40と
100回の定期戦を勝利で勝
ことができました。皆々まで胸
に心より感謝申し上げます。

出石 ラックビー ケン B
出石哲司(78年)終

第100回同志社・慶應義塾ラグビー定期戦で快勝！（108号、2017年7月発行）



シニアOB戦に出場した同チームの選

連載 ⑥

登録団体活動レポート
ESS東京OB会

近藤義彦(69年・経)

ESS100周年の節目に向けて

同志社英学校が1875

年に創立されて今年145年を迎えます。ESSは1920年創設ですので100周年記念のOB会が来年2021年7月4日(日)に神楽坂のアグネスホテルで開催されます。一年後の話ですが今からワクワクしています。

新型コロナウイルスの影響

東京校友会の春の集いも残念ながら中止となりました。ESS (English Speaking Society) 100周年記念OB・OG会は当初今年7月5日(日)に開催が予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で同様延期を余儀なくされました。今回の分まで来年7月4日(日)に楽しんでいただきたいと思います。写真は昨年2019年7月7日にアグネスホテルで開催

された時のものです。

東京OB会

団体の名称は「ESS東京OB会」ですが、写真の横断幕に記載のある通り、英文の呼称は Doshisha University ESS Alumni Association です。ですから東京に限定されたものではなく、国内外広い範囲の卒業生が登録されています。同志社総長・理事長の八田英二先生や同志社理事・同志社校友会

団体概要

【団体名】同志社大学ESS東京OB会
【設立年月日】1920年
【代表者】世話人代表 近藤義彦(1969年・経)
【会員数】450名
【連絡先】090-2658-1423(世話人代表チーム)



同志社総長・理事長の八田英二先生も会員のひとり

彦(69年・経)です。

ESSOB会

ESSのOB会は実に幅が広くその数も40以上が存在します。その中の一つで最大のものが東京OB会で

す。東京OB会以外には最近まで関西OB会と云う名称だった京都をベースにしたESS同窓会、アルファベットのAからOまで存在した15グループのOB会、デイスカッションセクション、デイベイトセクション、スピーチセクション、ブロードキャスティング、ドラマのOB会。アクウエリアス(水瓶座)、ジュネシス(創世)、ジュビター(木星)、マールキュリー(水星)、ネプチューン(海王星)、ユラナス(天王星)、サターン(土星)、ヴィーナス(金星)やグループセクションのOB会、これら組織のそれぞれの年次会等々があります。

昨年12月7日(土)には、昼前から同志社大学今出川キャンパスの弘風館K31号教室に、これらユラナス、デイスカッション等々出身のOBやESS現役学生諸君を含む30名が集い、グループセクションOB会として初めてのデイスカッションが行

われました。もちろん英語です。その後、円山公園に場を移し60名での懇親会が開催され大いに盛り上がりました。

楽しい集いを

東京のアグネスホテルでの年1回の集いは、会場に到着次第、お待たせすることなく生ビール等飲み物が供されます。若い世代からベテランまで笑顔があふれる会がモットーです。東京校友会のホームページに掲載された写真をご覧ください。



令和初の東京OB会(アグネスホテル)

連載
企画

片桐家同志社五代記

その二十三

文／片桐 陽(67年・工)

同志社高校で忘れられないものの一つに「どんち」がある。

「どんち」とはどういう意味?と改めて聞かれても、はてどういふことだったのか、全く忘れてしまった。多分どんちゃん騒ぎから名付けられたのだと思う。

それは、三年生だけに与えられたクラス対抗の神輿作りで、それを文化祭の最終日に運動場を練り歩き大騒ぎをするのだ。神輿は、各クラス工夫を凝らしたもののばかりで、一ヶ月くらい前から製作にかかり、全員で造り上げる。題材はクラスで考えるのだが、結構凝ったものが多い。



「どんち」での「蒙古襲来」

く、また出来映えも素晴らしいものが沢山あった。

A組一井三郎先生(国語)のクラスは、「チンチン電車」、我がB組前田哲男先生(西洋史)のクラスは「蒙古の軍船」、C組伊藤寛重先生(体育)のクラスは、「平安絵巻の牛車」、D組杉井六郎先生(日本史)のクラスは、「クジラ」、E組八塚次郎先生(英語)のクラスは「闘牛の牛」、そしてF組上田堅一朗先生(数学)のクラスは「マーメイド」と、本当に多種多様な神輿が揃った。

私達のクラスは担任の前田先生が西洋史専攻だったこともあり、協議の結果「蒙古襲来」というテーマに決まった。

蒙古から攻めて来る軍船をイメージし、簡単な設計図を基に製作を開始、放課後毎日暗くなるまでそれに没頭した。

簡単な図面は私が書いたように記憶しているが、なかなかその通りには進まない。長い製作時間を費やしたにもかかわらず、結果は思うようにいかなかった。写真を見ていただくと良く分かるが、凡そ私が考えていたものとは異なり、形、色、装飾などイメージからは全く違うものになってしまった。

そのように、出来映えは決して良いものとはいえなかったが、それでもやりきったという気持ちだけで全員満足だった。

「どんち」巡行の日は、一ヶ月掛けて製作してきた神輿の晴れ舞台であり、全員朝から気分も十二分に盛り上がっていた。各クラス、テーマのプラカードを持った女性陣が先導し、男性の担ぐ6基の神輿が運動場を練り歩いた。それぞれの神輿には、担任の先生が上に乗る氣勢を上げる。少々出来が良からうが悪からうがクラス全員が一つになって運動場を練り歩くだけで、みんな気分はハイになった。

昼間の巡行だけでも盛り上がるのだが、日が暮れるとその神輿に火が入れられ燃やされる。夜空に6基の神輿の炎が燃え盛り、気分は最高潮になってどんちゃん騒ぎが終わる。

でもこの「どんち」には後日談があつて、期間中に少々はしゃぎ過ぎた輩が問題を起こしてしまい、それが原因で我々の年が最後になってしまった。

今出川・京田辺四季



スポーツニッポン新聞社 記者
横野 泉(1996年・文)

サッカーW杯観戦が転機に

「井の中の蛙大海を知らず」。入学式で田辺校舎に足を踏み入れた瞬間、中学の恩師の言葉が甦った。中高時代を一学年約60人の新設校で過ごした私は、大勢の新生と先輩らのパワフルで自由な雰囲気圧倒された。

専攻は文学部社会科学新聞学専攻(現・社会学部メディア学科)。高3までサッカーをしていたが、膝の故障と受験で引退。将来は漠然とマスコミで働きたいと進学も、最初は何をしたらいいかも分からなかったが、全国から集まった学生のエネルギーッシュな活動ぶりに刺激を受け、自分が将来何をしたいのかを真剣に考えるようになった。

一番の転機は3年夏の94年に



サッカーW杯米国大会決勝にて(左から2人目が筆者)

サッカーW杯米国大会決勝を観戦したこと。世界最高峰のサッカーとファンの熱狂を目の当たりにした上に、W杯招致を目指す日本の自治体関係者やサッカー協会関係者と出会い話を聞くことができ、サッカー取材したいとの思いが強くなった。帰国後は英国に語学留学、欧州を一人で巡る旅にも出た。費用捻出のため1年から始めたアルバイトは在阪放送局京都支局のカメラ助手。京都の社会問題や伝統行事に触れ、ニュース感覚を養い、京都への愛着も感じるように。卒論はサッカーを通じた地域振興をテーマとした。そうして新聞記者になり、02年にはサッカーW杯日韓大会の取材を経験。サッカーやプロ野球の担当などを経て、現在は様々な分野の企画・特集記事を執筆している。3年前に東京に転勤となったのだが、校友の皆様には温かく接していただき、本当に感謝している。井の中の蛙が確かな夢を持つことができたのも、同志社大学だったからこそ。これからも、感謝と誇りを忘れずに歩んでいきたい。

「春の集い2020」 今年度開催中止のお知らせ

「春の集い2020」実行委員長 吉岡哲郎(76年・法)

コロナウイルス感染症緊急事態宣言は解除されたものの、依然予断を許さない状況が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、東京ジャーナル春季号にて、5月31日(日)開催予定の「同志社東京・春の集い2020」の開催中止のお知らせをさせていただきます。

その後、コロナウイルス感染症の収束状況を継続注視し、皆様に安心してご参加いただける環境が整えば延期開催が出来るか、検討してまいりました。しかしながら、緊急事態宣言解除後も、私たちの暮らす首都圏では新規感染者が増加しております。

今般、このような状況下では、安全・安心を担保した開催が困難と判断し、「同志社東京・春の集い」の今年度開催は正式に中止させていただきますことになりました。誠に、残念ではございますが、皆様ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

これまで「同志社東京・春の集い2020」の開催に向けて多くの皆様から多大なご支援、ご協力を頂戴してまいりました事、感謝に堪えません。誠にありがとうございました。

特に企業広告・協賛広告・名刺広告の数多くのお申込み、スポーツユニオンの皆様からお寄せいただいた多数のガイドブック掲載用原稿等、皆様のお陰を

持ちまして、開催に向けて順調に準備を整えることができましたこと、御礼申し上げます。

次年度も5月に「同志社東京・春の集い」の開催を計画しております。どうぞ、今年度同様引き続きご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、「春の集い」開催準備にあたり、多大なご支援を賜りました大学、校友会、企業、団体、個人の皆様

編集後記

毎年、東京ジャーナル夏号の巻頭記事は「春の集い」ですが、新型コロナウイルス感染拡大により「春の集い」が中止になりましたので、今年の夏号は「創刊30周年記念号」に致しました。

「緊急事態宣言」発令と外出の自粛要請を受け、同志社大学ではキャンパスへの入構が制限されて各窓口も閉鎖、授業は原則としてインターネット配信になりました。

経済的に困窮した学生を支援する大学の「緊急対応策」が発表され、校友会でも1人暮らし

に厚く御礼申し上げます。また、コロナ環境下活動を続けていた昭と昭和51年、61年、平成8年卒業の実行委員の皆様へ感謝申し上げます。

訃報

同志社校友会神奈川支部長の竹村慶三さん(70年法、校友会理事、東京校友会評議員)が、6月6日(土)に永眠されました。享年73歳。心からご冥福をお祈りいたします。

の学生に、飲食店などで使えるクーポン券を配布しています。一日も早い事態の収束と皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

文責/新田博伸(77年・法)

すみれ亭 昭和38年会俳句会

手花火のちりりとまるく落ちにけり

平野 豊嗣

手花火は線香花火の謂。少量の発光剤をこよりに巻き込み、火をつけると思い出したように燃え上がる。と、一瞬暗転。だれにもあつた幼年時代の小さな事件。みんな笑っていた。ちりりの措辞が控えめでもなんとも美しい。

(選評:あかき倦鳥)

DOSHISHA TOKYO JOURNAL

2020.July. NO.120 同志社東京校友会

〒104-0061 東京都中央区銀座1-15-7 MAC銀座ビル3F

電話: 03-5579-9728

FAX: 03-5579-9729

発行人/児玉正之

編集人/新田博伸

印刷/株式会社スバルグラフィック

http://www.doshisha-tokyo-alumni.jp

mail:office@doshisha-tokyo-alumni.jp

HP 会員ページ
ログイン情報

ID=doshisha
PASS=1875



人は寝ているあいだも、
空気を吸っている。

だから私たちは、人の心と体に
心地よい空気とは何かを考え続けています。
人と空気のあいだに、いつもダイキン。

ダイキン工業株式会社